



「飛躍の年 心ひとつに」

校長 吉浪 徳香

新年おめでとうございます。昨年も、みらさか学園に対して、あたたかいご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。本年もよろしく願いいたします。今年は、災害等が無く、穏やかで平和な年であるよう心より祈ります。

小中一貫教育校としてスタートしたみらさか学園も、開校して4年を終えようとしています。地域や保護者の皆様のご理解・ご協力をいただき、みらさか学園のしっかりとした土台ができたように感じています。そして「自立と共生の力を持ち、たくましく生きる児童・生徒の育成」に、教職員一丸となり、日々、取り組んでいます。

「道徳教育改善・充実」総合対策事業の指定校である本学園は、今年も、三次市及び広島県の道徳のリーディング校として進んでいます。6月15日には、県内から約150名の参加者に来校いただき、道徳の研修会を行いました。小学校と中学校の授業を公開しましたが、小中一貫教育校ならではの発達段階に応じた実践は、参加された講師や助言者の方から高く評価していただきました。また10月5日には、公開研究会を行い、全学級の授業公開を行いました。校長として何よりもうれしかったことは、昨年度と同様に、小中学校の教職員がお互いの授業を見合い、協議をし、知恵や意見を出し協力し合い、まさにひとつの学校として職員がまとまっていることです。ひとつの学校として力を合わせていることが、子どもたちにも確実な成長として表れているように思います。

小中学校が同じ屋根の下におり、日常的に協力できることは、他の小中学校にはできない実践ができる強みがあります。決して派手なことでもなく、日々の積み重ねが大きな力になります。小学校と中学校の教職員が、教材研究を一緒に行っていること。中学校の教職員が、日常的に小学校に乗り入れ授業ができること。児童会と生徒会が共通の目標をもって取り組むことができること。中学校に入学してくる6年生の様子を、中学校の職員が見ていること。中学3年生の進路指導や必要な力を小学校担任がリアルタイムで知ることができること。「つながり学習」「リトルティーチャー」等の小中合同の学習をスピーディに設定できること。小学生が中学生の部活動の様子を日常的に見ていること、等々。小中学校が一体となった学校の強みが確実に出てきており、子どもたちの姿として成果が出ています。

そして何より、三良坂町唯一の学校として、本当に多くの地域の方々にご支援をいただいていることに感謝しております。子どもたちにアンケートをとってみると、「今住んでいる地域が好きだ」と肯定的に回答している子どもたちは小中ともに90%を超え、94%にも達しています。県内的にもこれほど高い数値の学校はないのではないかと思います。それほど地域の方から支えられ、大切にいただいている証だと思いますし、地域に貢献しようとする子どもたちが確実に育っていくと確信しています。

今年も、みらさか学園は「地域に学び、未来に栄える」学園として、地域の未来を創る子どもたちを育ててまいります。さらに飛躍の年となるよう、子どもたちや教職員はもちろん、地域の方々とも「心ひとつに」学校をつくってまいります。引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。



「きらめけ!みらさか」～挨拶・姿勢・一生懸命・思いやり～

これからの 行事予定

- 1月30日(水) みらさか小学校食育参観日
- 2月 8日(金) みらさか小学校二分の一人式
- 2月14日(木) 三良坂中学校立志式